

校長室の窓から 103

070904 災害とデマについて

今日の 2 時間目に、地震・津波の避難訓練を行いました。まず、各学級でDVDを視聴した後、実際に地震と津波が起こったという想定で、3 階のマルチルームまで避難しました。

3階マルチは暑かったですが、みんな私語をせず真剣に訓練に臨んでいてとても立派でした。



暑さを避けるため、校長の話は教室に戻ってから、放送で行うことにしました。

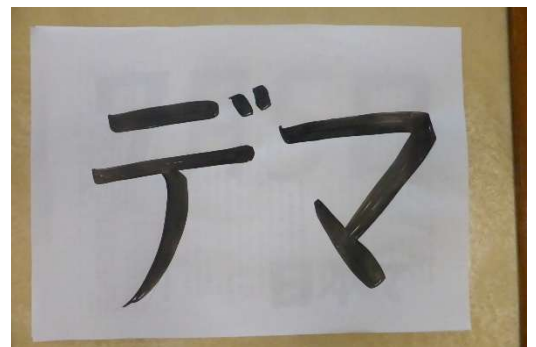
今日の話の内容は「災害とデマ」についてです。

今年の 7 月 5 日に日本で大地震・大津波が起こると予言した本が話題になったことは記憶に新しく、その情報のせいで、海外から日本へ来る旅行客のキャンセルが相次ぎました。

その頃、子供たちの間でもそのうわさで話題もちきりでした。



また過去には、関東大震災のときには「朝鮮人が井戸に毒をいれた」とか「火をつけてまわった」というデマが流れ、熊本地震のときには「動物園のライオンが逃げた」というデマとともにフェイク画像がインターネット上に流れました。能登半島地震のときにも、多くのデマが流れ、チェーンメールのように拡散を促すツイートを目にしました。



子供たちには、「災害が発生したときにはウソの情報が流れやすいこと」や「正しい情報をしっかりと見極めることが大切である」ということを説きました。

いざ災害が起こったときは、速やかな避難行動をとることや、正しい情報を得る大切さ等、今日学んだことを活かしてくれたらうれしいです。

愛と信の仲よし

中太閤山小学校長 堀かおり